

平成30年 第3回定例会

一 般 質 問

[会派代表質問]

印西市議会

順番	会 派 名	議員番号	議 員 名	質問方式
1	響（ひびき）	17番	金丸和史	一問一答方式
2	至 誠	15番	小川義人	一問一答方式
3	新 政	18番	板橋睦	登壇一問一答方式
4	創 進	3番	小川利彦	一問一答方式
5	公 明 党	11番	橋本和治	一問一答方式
6	日本共産党	19番	山田喜代子	登壇一問一答方式

# 響（ひびき）

質問者 17番 金丸和史

## 1 民泊新法に関する事

- (1) 市内での状況について把握しているか。
- (2) 印西市として民泊に関して、どのように考えていくのか。

## 2 「印西市人口10万人突破記念事業」に関する事

- (1) イオン付近における時計設置について
  - ①印西市10万人を突破した記念事業として、時計の設置はできないか。
  - ②設置に向けては、官民一体的な取り組みとして位置付けてはどうか。
- (2) イルミネーションについて
  - ①予定通りに進捗しているのか。
  - ②地元との協議は行っているのか。
  - ③駅ロータリー付近にできるホテル建設工場の影響は考えているのか。

## 3 学校関係に関する事

- (1) 通学路を含めて、危険な壁等はないのか。
- (2) 防犯カメラの設置は進んでいるのか。
- (3) 熱中症対策はどのように指示しているのか。

## 4 都市再生機構の跡地活用について

- (1) 前回定例会で附帯決議が付されたが、現在までの検討状況は。

## 5 印旛中央地区に関する事

- (1) 現在までの動向はどうか。
- (2) 庁内の検討状況はどうか。
- (3) 今回がラストチャンスととらえているが、今後、どのように進めていくのか。

## 6 災害（帰宅難民）協力事業所に関する事

- (1) 他自治体の状況はどうか。
- (2) 本市としてどのように考えているのか。

## 7 ドクターヘリの運用に関する事

- (1) 着陸可能場所の現況を印西市としてどのように考えているのか。
- (2) 今後、印西市内において着陸場所を増やす予定は。

# 至 誠

質問者 15番 小川 義人

- 1 公共施設の再編について
  - (1) 市内で課題を抱える施設・機能の把握について
  - (2) 新たな機能を導入した公共施設整備の検討について
  - (3) 市民の要望・意見の集約方法について
  - (4) 民間活力導入の検討について
  - (5) 今後の再編方針について
  
- 2 防災・減災力の向上について
  - (1) 印西市総合防災訓練をより実践的なものへ
  - (2) 防災備品の提供について
  
- 3 人口10万人突破記念イベントについて
  - (1) ふるさとまつりについて
  - (2) イルミネーション事業について
  
- 4 シティプロモーションについて
  - (1) 認知度向上の目的について
  - (2) 具体的な取り組みについて
  
- 5 公共交通網整備促進事業について
  - (1) 公共交通のさらなる充実に向けた取り組みについて
  - (2) 乗合タクシー等の実証運行について
  
- 6 新住事業における公共施設の引き継ぎについて
  - (1) 市への引き継ぎ計画について
  - (2) 引き継ぎによる財政負担の見通しについて
  - (3) 維持管理業務について
  
- 7 国際理解教育について
  - (1) 印西市のめざす姿について
  - (2) 具現化するための方策について

# 新 政

質問者 18番 板橋 睦

- 1 都市再生機構事務所用地取得後の利用計画について
  - (1) 現状と今後の進め方
  
- 2 公共交通網整備促進事業・路線バス運行対策事業について
  - (1) 現状と課題
  - (2) 今後の取り組み
  
- 3 北総鉄道株式会社について
  - (1) 株主総会時の発言とその後
  
- 4 印旛中央地区について
  - (1) 現状と今後の取り組み
  
- 5 40戸連たん制度について
  - (1) 現状と課題
  
- 6 学校の適正規模・適正配置について
  - (1) 大規模校について
    - ①小倉台小学校、原小学校の児童の推移は予定通りか
  - (2) 過小規模校について
    - ①保護者や地域の方との話し合いは
  - (3) 旧永治小学校の跡地活用について
    - ①進捗状況
  
- 7 監査委員について
  - (1) 業務内容
  - (2) 人数
  - (3) 待遇

# 創 進

質問者 3番 小川利彦

## 1 シティプロモーションについて

市役所内にシティプロモーション課が新設され、シティセールスに力を入れ定期的な各種イベントにも出席している事は承知しています。そこで、印西市の担当課としての考え方や4月より半年経過しての実績及び今後について伺いたいと思います。

- (1) 印西市主体の事業について
- (2) 市民への愛着度向上について
- (3) 市外へのPRについて
- (4) 印西市の魅力度アップについて
- (5) 担当課の現状と課題について

## 2 有害鳥獣について

有害鳥獣対策として、印西市内の猟友会との連携や農作物被害軽減のために電気柵の補助金交付事業といった事を実施しておりますが、この補助事業対策をしている場所以外での有害鳥獣による被害も出ている現状や農地以外の場所にも出没している現状に対し、印西市としての見解を伺いたいと思います。

- (1) 年々増加しているイノシシに対する考え方について
- (2) ジビエについての考え方はどうか
- (3) 近隣自治体との連携について

## 3 空き校舎の利活用について

近年閉校した小学校や今後閉校となる学校が数校発生する状況が見込まれます。

今後は機械警備だけで、そのままにして避難所となる時のみ開放するのか、または、常日頃より市民へ開放していて、災害時の避難所や投票所という使い方をするのか、または、校舎や用地は売却なのか。

空き校舎については賛否両論があると思いますが、印西市としての見解を伺います。

- (1) 廃校となった校舎をどうするのか
- (2) 栄町の様な特別支援校などの学校施設としての利用はどうか
- (3) 直売所や宿泊施設等での利用を検討することはないのか

#### 4 合併から10年目を迎える事について

平成22年3月の合併より8年が経過し、合併時に取り決めた項目について、未だに未実施である事が多いと思います。

また、合併協議会時には決定せず、新市となってから決定する。といった項目等も積み残されていることもあると思います。間もなく合併後10年を迎えるに当たり、先送りする事なく政策を進めていかなければなりません、印西市の考え方を伺います。

(1) 印西市総合計画から第2次基本計画に進み、積み残した事業について

# 公 明 党

質問者 11番 橋本和治

## 1 防災対策について

- (1) 西日本豪雨から学ぶこと
  - ①豪雨災害時の避難体制を伺う
  - ②指定避難場所のエアコン対応は可能か
  - ③豪雨災害後の廃棄物処理対策は十分か
  - ④廃棄物処理に伴う粉塵対策は十分か
  - ⑤豪雨災害の場合の在宅避難者への対応はどうか
  - ⑥豪雨による道路冠水時における通行車両の迂回誘導について
- (2) 乳児用液体ミルクの国内製造・販売が可能となったが、災害用備蓄品として活用する考えはないか
- (3) 防災マップの活用について
- (4) 災害時協力井戸制度を導入する考えはないか

## 2 ブロック塀の安全対策について

- (1) 市内にも危険なブロック塀が見受けられるが、市として状況を把握しているか
- (2) 通学路の危険なブロック塀は撤去されたか
- (3) 通学路以外のブロック塀撤去の取り組みを伺う

## 3 子ども食堂の取り組みについて

- (1) 厚生労働省が発出した「子ども食堂の活動に関する連携・協力の推進及び子ども食堂の運営上留意すべき事項の周知について（通知）」（以下、「子ども食堂に関する通知」）に対する市の認識を伺う
- (2) 文部科学省が発出した「子ども食堂の活動に関する福祉部局との連携について（通知）」に対する教育委員会の認識を伺う
- (3) 市として子ども食堂を推進する考えはないか

## 4 LGBTに関する本市の施策について

- (1) 平成29年9月以降、本市の取り組みに改善はあるか
- (2) 職員向けガイドラインを作成する考えはないか

## 5 自転車活用推進計画の閣議決定に伴う本市の施策について

- (1) 同計画に対する本市の認識を伺う



- (2) 印西市版自転車活用推進計画を策定する考えはないか
- (3) 本市において「サイクルツーリズム」を推進する考えはないか

## 日本共産党

質問者 19番 山田 喜代子

- 1 就学援助制度、利用しやすいように改善を  
学校教育法第19条において「経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対しては、市町村は必要な援助を与えなければならない」とされている就学援助制度は果たして十分に機能しているだろうか。制度の活用・充実について課題と認識を問う。
- 2 誰もが安心して利用できる制度に  
憲法第25条で明記された生存権を保障する根幹をなす生活保護制度は、生活困窮者に寄り添う支援となっているか。
  - (1) 制度への周知はどのように行い、又それは適切・充分か
  - (2) 「生活保護行政を適切に運営する為の手引き」について手引きはどうか活用されているか
  - (3) 現場の職員体制は充分であるか
  - (4) 暑さ対策はどうしているか、課題への考えについて
- 3 公共施設の管理計画の進捗状況  
施設の老朽化に伴ない修繕等が進んでいるが、管理計画はどこまで進んでいるか。現在の状況と進捗状況を問う。
- 4 教職員の実態は  
教師の多忙化が社会問題となって久しい。市ではどのような状況となっているのか。教職員の置かれている実態を問う。
  - (1) 教諭の配置状況（教諭と講師）
  - (2) 教諭と講師の労働実態の違いは何か
  - (3) 教職員の勤務時間をどう把握しているか（8時00分～16時30分）
  - (4) 学習指導要領に定められた標準授業時数は守られているか
  - (5) 多忙化の原因をどう捉えているか
  - (6) 多忙化が児童・生徒にどのような影響があるか

(7) 多忙化を解消する手だてをどう考えているか

5 UR賃貸住宅空室を市営住宅にすること、その後の進捗状況は

6 感震ブレーカーの設置について

防災の観点から設置への普及促進の考え方について伺う。